



13/3 月期 2Q 決算説明資料

eGuarantee

2012 年 11 月 6 日

本資料は、経営戦略等に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。

これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社以外の情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

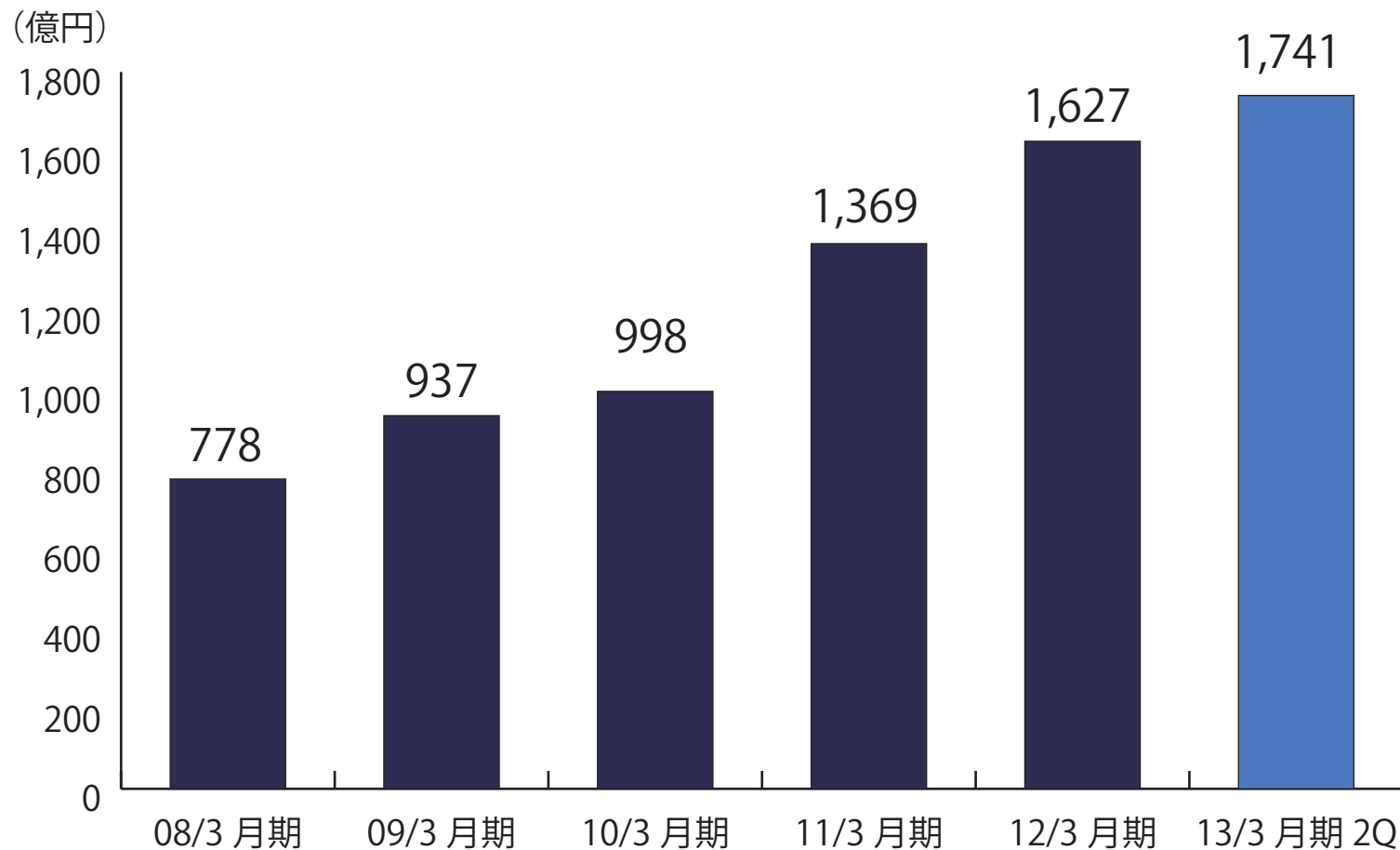
イー・ギャランティ株式会社

13/3 月期 2Q 業績概要

1. 保証残高 拡大

□低リスク分野でのリスク引受け拡大を継続。

9月末の保証残高は 1,741 億円（対前期末比 7%増）。



(保証残高は売掛債権保証サービス及び買取債権保証サービスに係る保証債務を合計したもの)

2. 連結損益計算書

- 金融円滑化法による倒産件数の抑制は依然続いており、売上高は前年同期比約5%増加。
- 流動化コストの低下により、利益率は更に上昇。

単位＝百万円
比率＝%

	12/3 月期 2Q	構成比	13/3 月期 2Q	構成比	増減	増減率
売上高	1,695	100.0	1,785	100.0	90	5.3
売上総利益	1,032	60.9	1,187	66.5	154	15.0
営業利益	432	25.5	560	31.4	127	29.5
経常利益	438	25.8	568	31.8	129	29.7
四半期純利益	229	13.5	326	18.3	97	42.3

3. 対期初予想比

- 引き続き低リスク中心の案件獲得に注力した結果、売上高は期初予想通り。
- リスク移転手法の多様化・高度化により利益率は上昇、営業利益・経常利益・当期純利益のいずれも期初予想を上回る。

単位＝百万円
比率＝%

	13/3 月期 2Q (期初予想)	構成比	13/3 月期 2Q (実績)	構成比	増減	達成率
売上高	1,770	100.0	1,785	100.0	15	100.9
営業利益	500	28.2	560	31.4	60	112.1
経常利益	500	28.2	568	31.8	68	113.6
四半期純利益	260	14.7	326	18.3	66	125.6

4. 連結貸借対照表

単位=百万円
比率=%

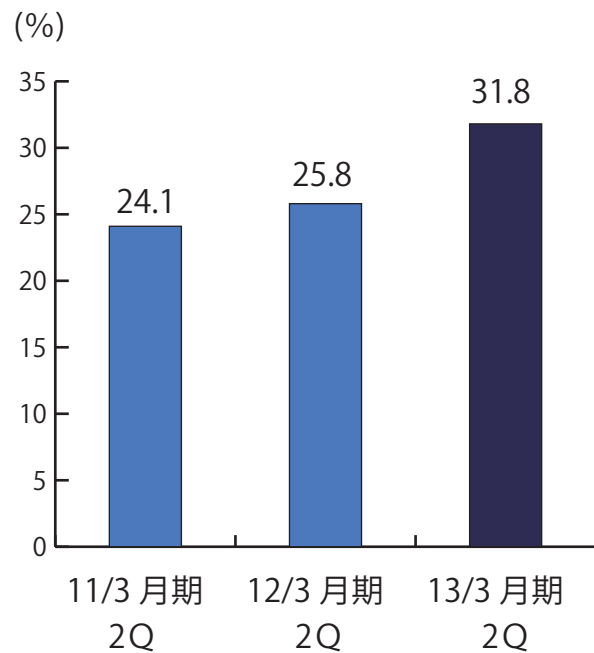
資産の部				
	12/3 期末	構成比	13/3 期 2Q	構成比
流動資産	5,874	88.6	5,629	84.1
現預金	4,617	69.6	3,765	56.3
前払費用	620	9.4	1,142	17.1
未収入金	11	0.2	71	1.1
その他	624	9.4	650	9.6
固定資産	757	11.4	1,061	15.9
資産合計	6,631	100.0	6,691	100.0

- 一部リスク移転先との契約更新により
前払費用が 521 百万円増加。
- E S O P 導入による自社株式買付に伴い、
長期借入金が 236 百万円、自己株式が
285 百万円増加。
- 利益剰余金が 200 百万円増加。

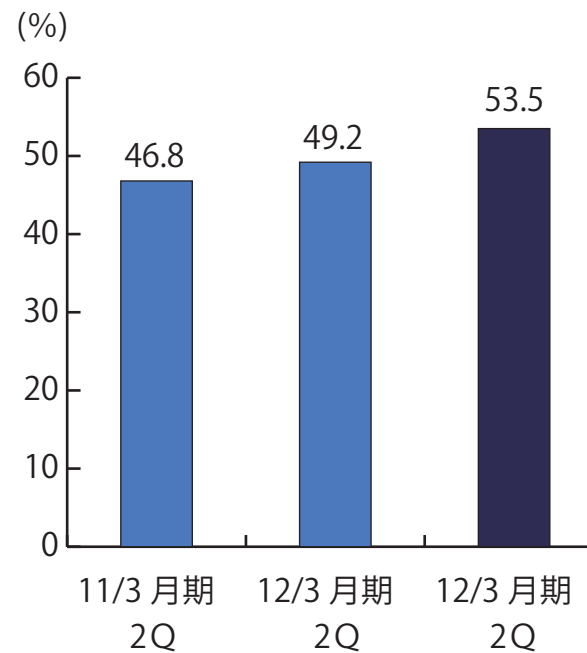
負債の部				
	12/3 期末	構成比	13/3 期 2Q	構成比
流動負債	2,282	34.4	2,348	35.1
保証履行引当金	85	1.3	107	1.6
前受金	1,833	27.6	1,760	26.3
その他	364	5.5	480	7.2
固定負債	65	1.0	309	4.6
長期借入金	—	—	236	3.5
その他	65	1.0	72	1.1
負債合計	2,348	35.4	2,657	39.7
純資産の部				
株主資本	3,667	55.3	3,582	53.5
資本金	1,418	21.4	1,418	21.2
資本剰余金	828	12.5	828	12.4
利益剰余金	1,421	21.4	1,621	24.2
自己株式	△0	△0.0	△285	△4.3
新株予約権	42	0.6	42	0.6
少数株主持分	572	8.6	409	6.1
純資産合計	4,283	64.6	4,034	60.3
負債純資産合計	6,631	100.0	6,691	100.0

5. 主要な経営指標

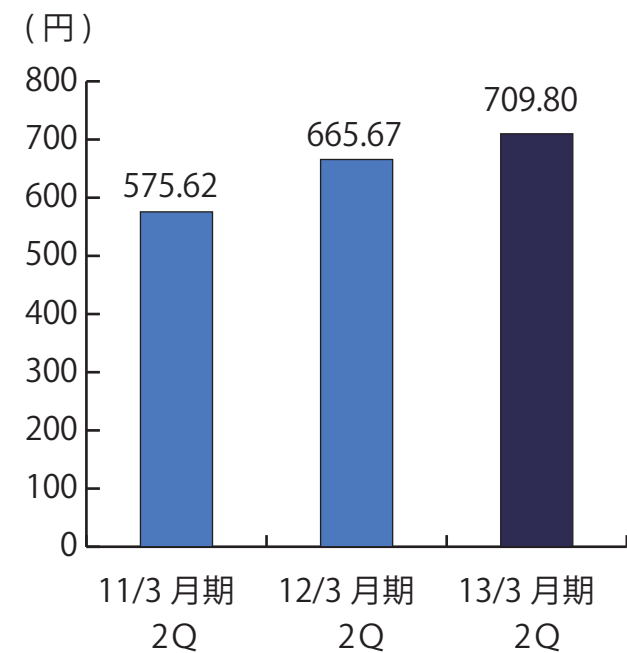
売上高経常利益率



自己資本比率



1株当たり純資産



(注) 13/3 月期 2Qの純資産は「従業員持株会支援信託E S O P」が保有する当社株式 285 百万円を自己株式として控除しております。

6. 今期の連結業績見通し

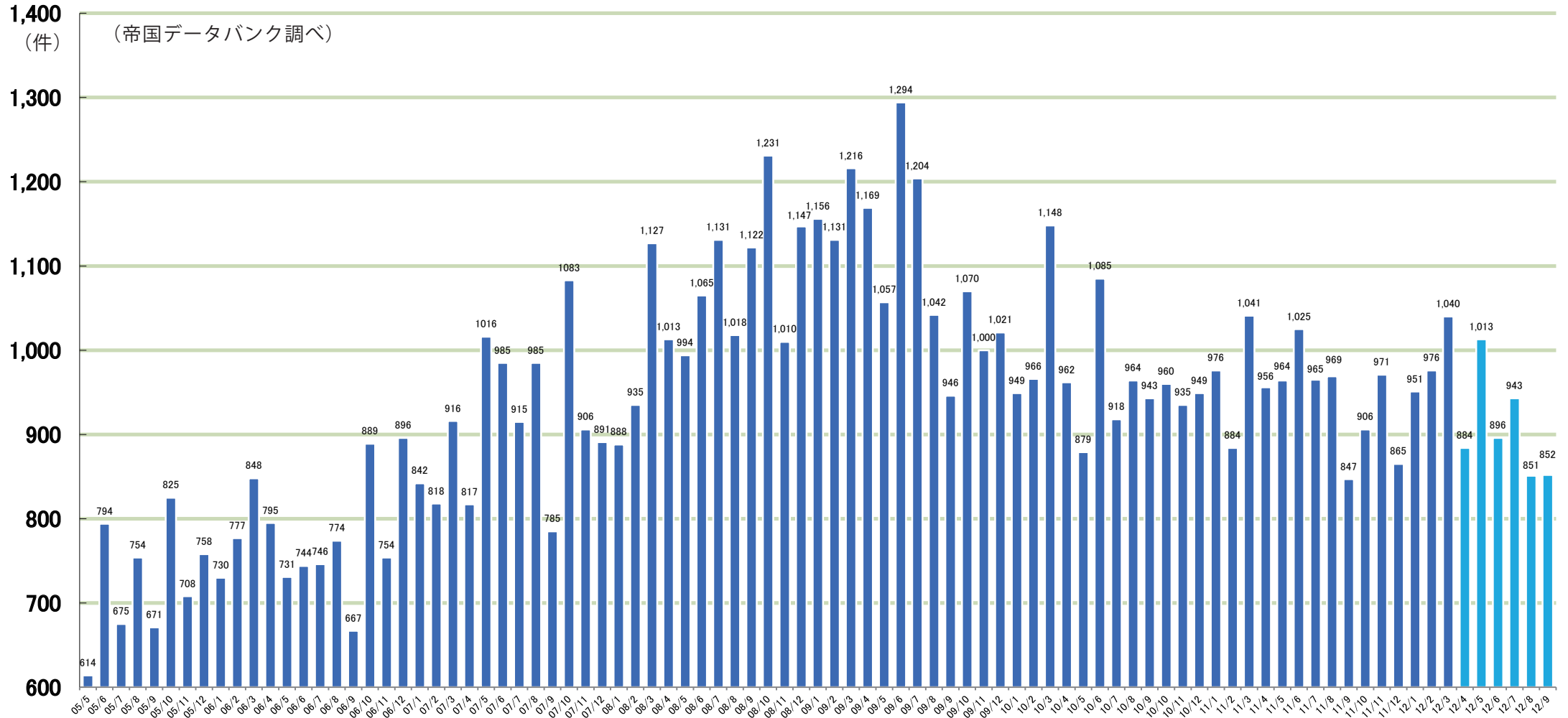
- 上期利益は通期見込の50%を超える進捗となったが、中小企業金融円滑化法の期限（13年3月）が迫る年度後半以降の倒産動向が不透明なため、通期業績予想は据置き。

単位=百万円
比率=%

	13/3 月期 2Q	13/3 月期	進捗率
売上高	1,785	3,640	49.1
営業利益	560	980	57.2
経常利益	568	1,000	56.8
当期純利益	326	530	61.6
1株当たり四半期（又は当期） 純利益（円）	64.72	104.99	61.6

13/3 月期の重点施策及び進捗状況

全国倒産件数の推移 (月次件数)



13/3 月期の取り組み（再掲）

外部環境 ： 政策の期限切れによる倒産件数の増加が起こりうる1年。

基本方針

引き続き倒産動向の推移を踏まえ、リスクを見極めつつ、低リスク分野での信用リスク受託拡大による大企業顧客の更なる拡大、また、保証を活用した周辺ビジネスにより金融機関との連携の強化を図る。これにより、将来の倒産件数の増加に備える。

1. リスク引受力の拡大

- ・ リスクに見合った価格設定を可能とするための流動化手法の多様化
- ・ 多様なリスク引受け実現のためにファンドへの流動化強化を図り、ハイリスクゾーン引受余力拡大
- ・ 長期での信用リスク引受けのための流動化契約の長期化

2. 海外向け輸出債権保証受託の基盤整備

3. 金融機関との連携による保証関連サービスの拡大

- ・ 手形・債権買取サービス
- ・ 電子記録債権買取サービス
- ・ 金融機関向け再保証

13/3 月期 重点施策 ①

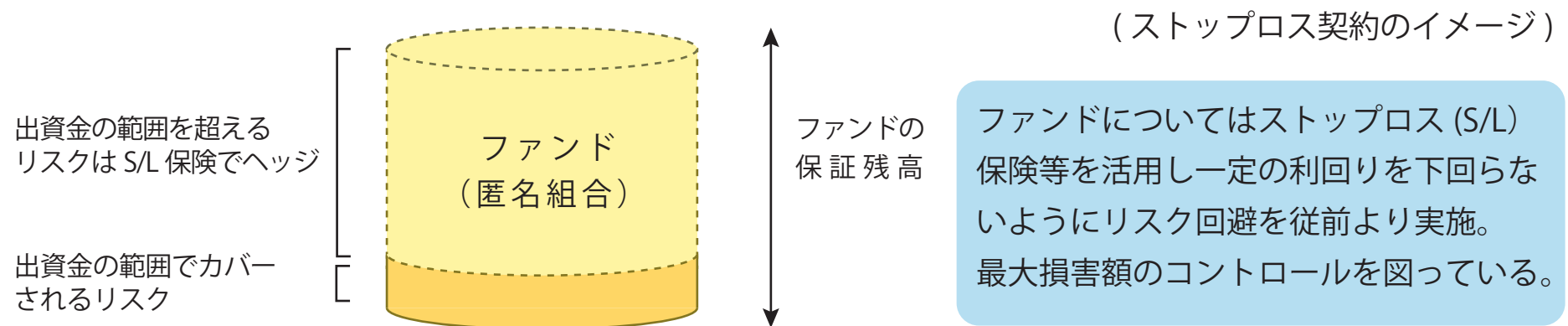
リスク引受力の拡大

流動化手法の多様化

- 引き続き流動化手法の多様化・高度化に取り組む。
- ストップロス契約の拡充を実施。

ファンドへの流動化強化 流動化契約の長期化

- 1号ファンド「クレジット・クリエイション1号」を
リニューアル。



13/3 月期 重点施策 ② 海外向け輸出債権保証受託の基盤整備

基盤整備

- 韓国・台湾・中国等を中心に海外金融機関とのリスク流動化交渉を継続中。
顧客ニーズに対応するリスク引受力の拡大を図る。

13/3 月期 重点施策 ③

金融機関との連携による保証関連サービスの拡大 (1)

手形・債権買取

□大手リース会社が提供するファクタリングについて、当社が再保証する案件が稼働。

保証のOEM化

□上記ファクタリング案件や既存案件が堅調、金融法人向けサービスの売上高は対前期比 8.8%増に。



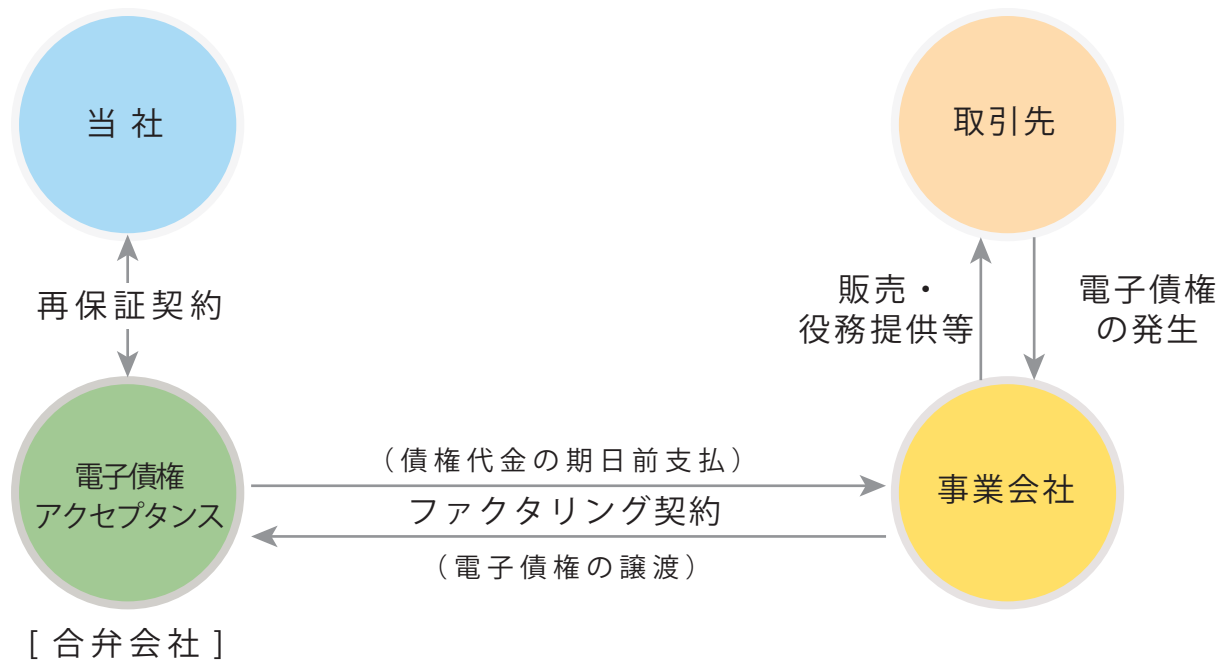
当社のサービスによりファクタリング会社・リース会社等は、当社の信用リスク分析を通じて企業の信用リスク引受が可能となる。

13/3 月期 重点施策 ③

金融機関との連携による保証関連サービスの拡大 (2)

電子記録債権

□ 本年4月に電子記録債権の買取・流動化事業を目的とした合弁会社をNECキャピタルソリューション株式会社と共同で設立。



- 電子記録債権の形式で発生した売掛金や手形を合弁会社である電子債権アクセプタンスが買取りを実施。
- 合弁会社が引受けたリスクの再保証を行う。

(参考) 売掛金及び受取手形の推移

(億円)

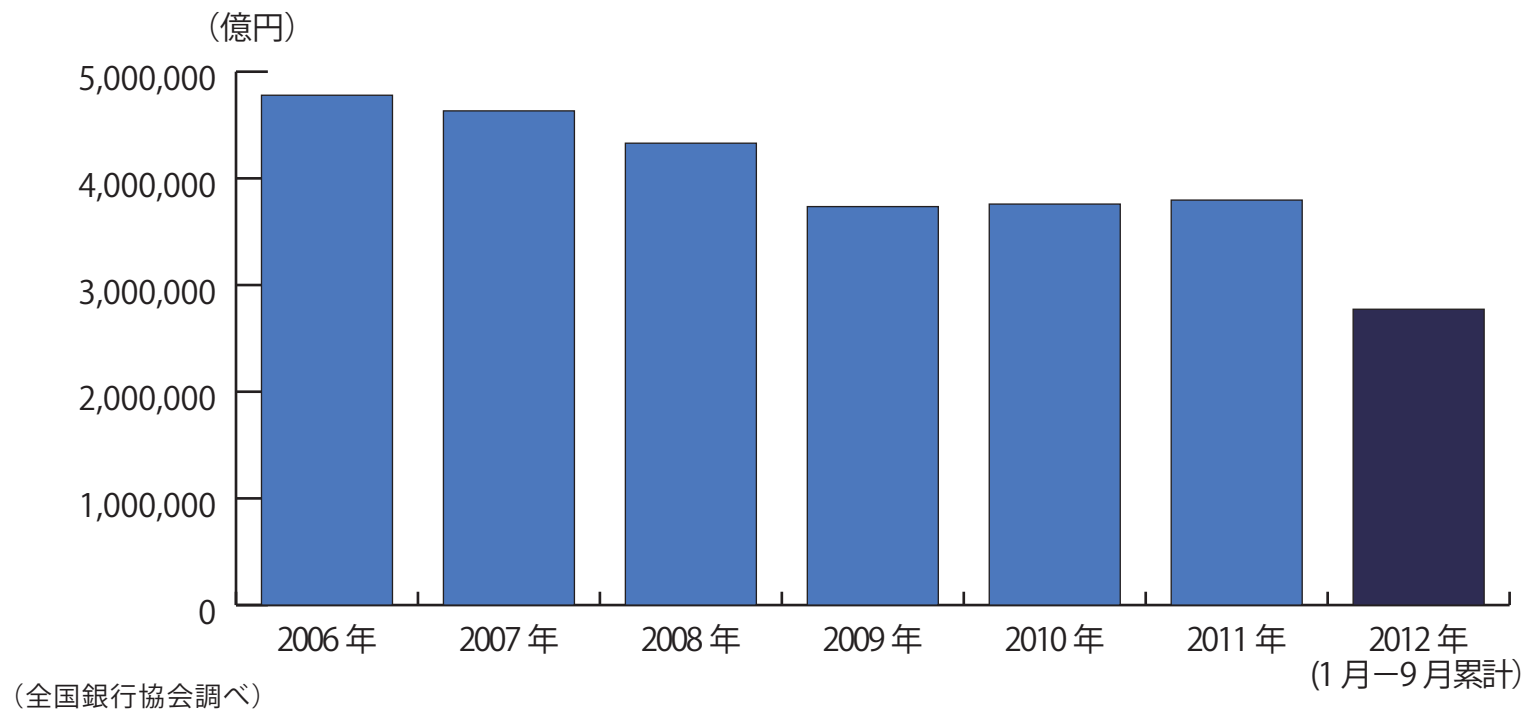
	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度
受取手形	336,924	295,900	285,052	227,773	239,753
売掛金	2,091,064	2,159,107	1,802,180	1,825,073	1,821,680

(法人企業統計調査 2010 年度統計表)

(参考) 直近の手形交換高

- 手形は依然として重要な決済手段であり、毎月約 30 兆円の決済が手形により行われている。

手形交換高の推移



販売網の拡充

□地方銀行を始めとする金融機関、リース会社（ノンバンク）、メガバンクやメーカー系保険代理店等と幅広く提携。新規提携先の拡大と既存提携先との関係深耕を図る。

提携先地銀 ……計 43 行

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| ・阿波銀行 | ・伊予銀行 | ・岩手銀行 |
| ・大分銀行 | ・大垣共立銀行 | ・近畿大阪銀行 |
| ・山陰合同銀行 | ・滋賀銀行 | ・四国銀行 |
| ・静岡銀行 | ・十八銀行 | ・荘内銀行 |
| ・常陽銀行 | ・第四銀行 | ・千葉銀行 |
| ・鳥取銀行 | ・トマト銀行 | ・名古屋銀行 |
| ・西日本シティ銀行 | ・八十二銀行 | ・肥後銀行 |
| ・百十四銀行 | ・広島銀行 | ・福井銀行 |
| ・北海道銀行 | ・宮崎銀行 | ・武蔵野銀行 |
| ・山口銀行 | ・山梨中央銀行 | ・京都銀行 |
| ・百五銀行 | ・東邦銀行 | ・佐賀銀行 |
| ・南都銀行 | ・山形銀行 | ・青森銀行 |
| ・北都銀行 | ・仙台銀行 | ・足利銀行 |
| ・東京都民銀行 | ・東京スター銀行 | ・群馬銀行 等 |

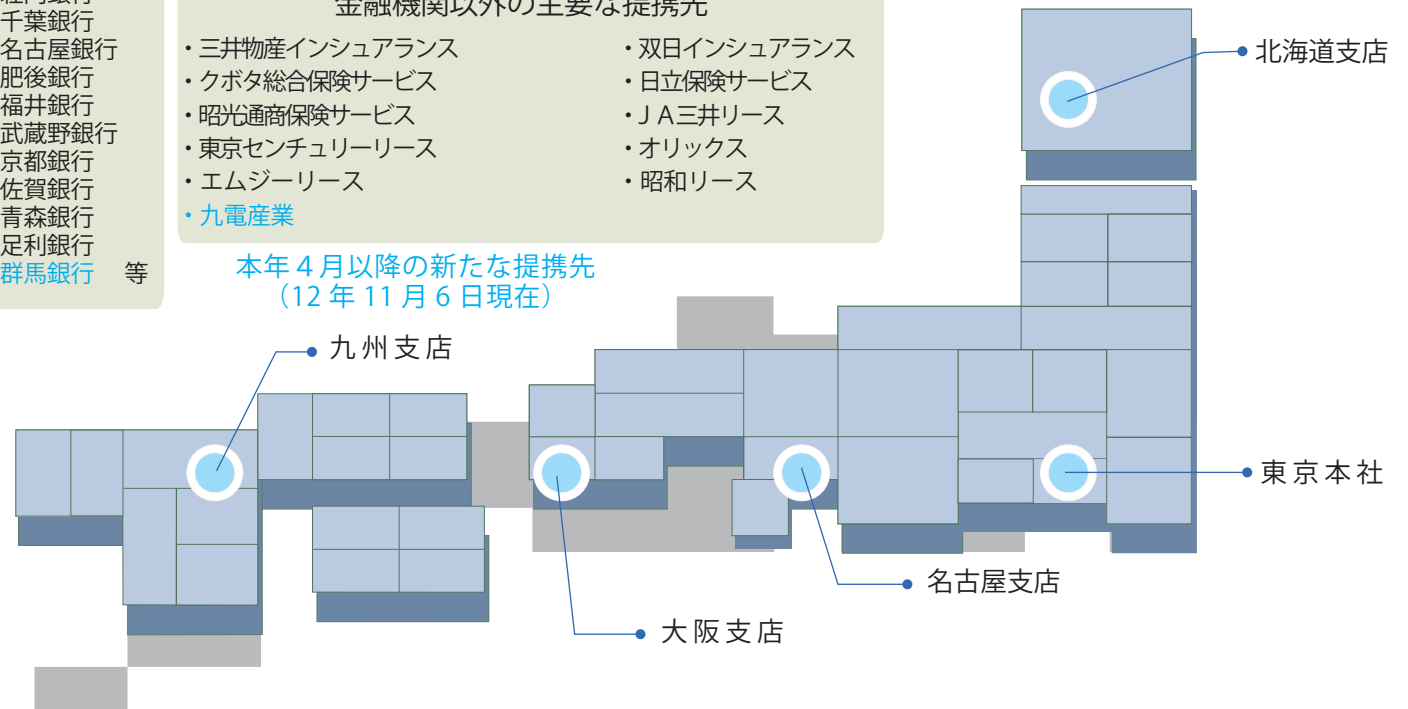
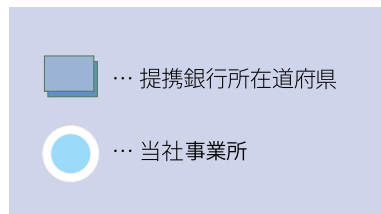
地方銀行以外の提携先金融機関

- | | |
|---------|---------|
| ・リソナ銀行 | ・岡三証券 |
| ・新生銀行 | ・いちよし証券 |
| ・西武信用金庫 | ・SBI証券 |

金融機関以外の主要な提携先

- | | |
|---------------|-------------|
| ・三井物産インシュアランス | ・双日インシュアランス |
| ・クボタ総合保険サービス | ・日立保険サービス |
| ・昭光通商保険サービス | ・J A三井リース |
| ・東京センチュリーリース | ・オリックス |
| ・エムジーリース | ・昭和リース |
| ・九電産業 | |

本年4月以降の新たな提携先
(12年11月6日現在)



本資料に関するお問い合わせ先
イー・ギャランティ株式会社 経営管理部
03-5447-3566